

木場潟公園の令和4年度管理状況

様式 1

施設所管課	土木部公園緑地課
施設管理者	公益財団法人 木場潟公園協会
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
中期経営目標 (H30～R4)	①利用者数を5年間で5%以上増加させます。 ②利用者アンケートによる満足度95%以上を目指します。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項目	実施内容
① サービス向上・利用促進	<p>①公園内の話題、規制等は全園地が随時共有し、来園者への周知を図った。</p> <p>②アンケート、投稿メール、日報など職員に対する意見等は、全員が共有し接遇に努めた。</p> <p>③夜間にお月見ライブを開催するなど、新たな自主事業を企画し、利用者数の増加に繋げている。</p> <p>④ホームページを改修したことにより、公園に対する苦情要望、公園利用に関する問合せや申し込みがしやすくなった。</p>
② 広報活動	<p>①ホームページ、フェイスブック、インスタグラム等を活用し公園の情報発信に努めている。</p> <p>②四季の希少な植物情報は、随時新聞やテレビの報道機関を活用して多くの来園者の増加につながった。</p> <p>③木場潟を通じた環境団体と連携した環境保全、環境教育、ボランティア活動を推進した。小松市の「こまつ環境パートナーシップ」に加わり、市ぐるみの環境保全の連携を広める活動を行った。</p>

(2) 令和5年度における取組内容の見直し等

実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・マルシェの定期的な開催 ・西園地展望休憩所での夜間音楽ライブの開催

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H26～H28 年度 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度	前年度比	基準値比	R4年度 (目標値)
(1) 利用者数(人)	708,058人	749,951人	752,299人	803,357人	106.8%	113.5%	745,000人
(2) 貸館稼働率(%)							
(3) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス(%)	94.7	99.0	99.0	99.0	.0ポイント	4.30ポイント	95.0
施設の維持管理(%)	94.5	99.0	100.0	99.0	-1.0ポイント	4.50ポイント	95.0

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る増減理由>

指 標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	新型コロナウイルス対策の緩和による利用者増のほか、令和4年度末のサクラの開花が例年より1週間早く、3月末に観桜期の賑わいを迎えたことによる	各園地の施設整備のほか、ホームページ等での広報活動の結果、利用者が継続して増加
貸館稼働率		

<利用者アンケート結果（令和4年4月～令和5年3月実施 有効回答数94件）>

項 目	回 答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス(%)	40.0	59.0	1.0	0.0
施設の維持管理(%)	48.0	51.0	1.0	0.0

3 施設等の維持管理

項目	実施内容
(1) 清掃	毎日
(2) 設備保守点検	遊具・・・日々点検、定期点検9月 その他の施設・・・専門業者に委託 その他は、公園協会職員による点検
(3) 植栽維持管理	樹木、芝、園地についてその一部を専門（造園）業者に委託
(4) 警備	園内巡回
(5) 小規模修繕	老朽化施設、備品の更新、枯損木の伐採

4 管理運営体制

項目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	①緊急時の連絡体制の確認 ②消火器等設備の設置場所の再確認
(2) 個人情報の管理状況	個人情報の取り扱いについて、事務局長が責任者となり年度当初及び中間期に職員に対し周知徹底している。

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

(単位：件)

項目	許可件数	不許可件数	不許可理由
貸しボート	69		
シャワー	78		
合計	147	0	

(2) 使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

(単位：千円)

項目	収入額	減免額	減免理由
貸しボート	11	10	※県民スポーツの日4/24、4隻 こどもの日5/5、29隻 計33隻
シャワー	8		
合計	19	10	

(3) 収支決算

(単位：千円)

収 入		支 出	
指定管理料	52,350	人件費	27,645
利用料収入	19	光熱水費	4,019
その他	18,705	修繕費	4,172
		緑地管理費	20,609
		その他	14,629
合 計 ①	71,074	合 計 ②	71,074
収支差額 ①-②	0		

6 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
令和4年6月	公園内でスケートボード等は、利用者が多いので止めてほしい。	人の多い園路では、利用を控えるように指導。
令和4年8月	北園地休憩所内でペットの糞、尿を洗い流している人がいる衛生的に悪い。	休憩所入口及び休憩所内に「休憩所内では糞尿をさせないで」を表示。
令和4年10月	西園地展望台の手摺がぐらついて危ない。	注意喚起を掲示。県に修理要望。
令和5年3月	西側園路の路肩に段差があり、足を踏み外し怪我をしそうで危ない。	補修について検討します。

7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応
令和4年8月	大雨洪水による被害 (西園地機械設備)	県修繕(浄化槽ポンプ、分電盤等)

8 その他報告事項など

--

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	A	<ul style="list-style-type: none"> ・木場潟の自然環境を保護すると共に、他機関と連携して潟を利用し、利用促進を図っている。 ・公園の話題を報道機関に提供するのに加え、季節ごとの公園の魅力をSNSを有効に活用し、利用者へ情報発信を図っている。 ・新たな自主事業を企画し、利用者数の増加に繋げている。
(2) 施設等の維持管理	B	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕・除草・除雪等において仕様書の水準以上の維持管理運営をしている。
(3) 管理運営体制	B	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターを活用し、人件費の削減に努力している。 ・光熱水費について、毎月のメーター確認を実施して無駄な費用負担を削減している。 ・小松市が実施する流し舟の運航への協力を積極的に行っている。
総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な自主事業の企画のほか、経費の節減や修繕を行い、多くの利用や満足度の向上につなげている。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項

--